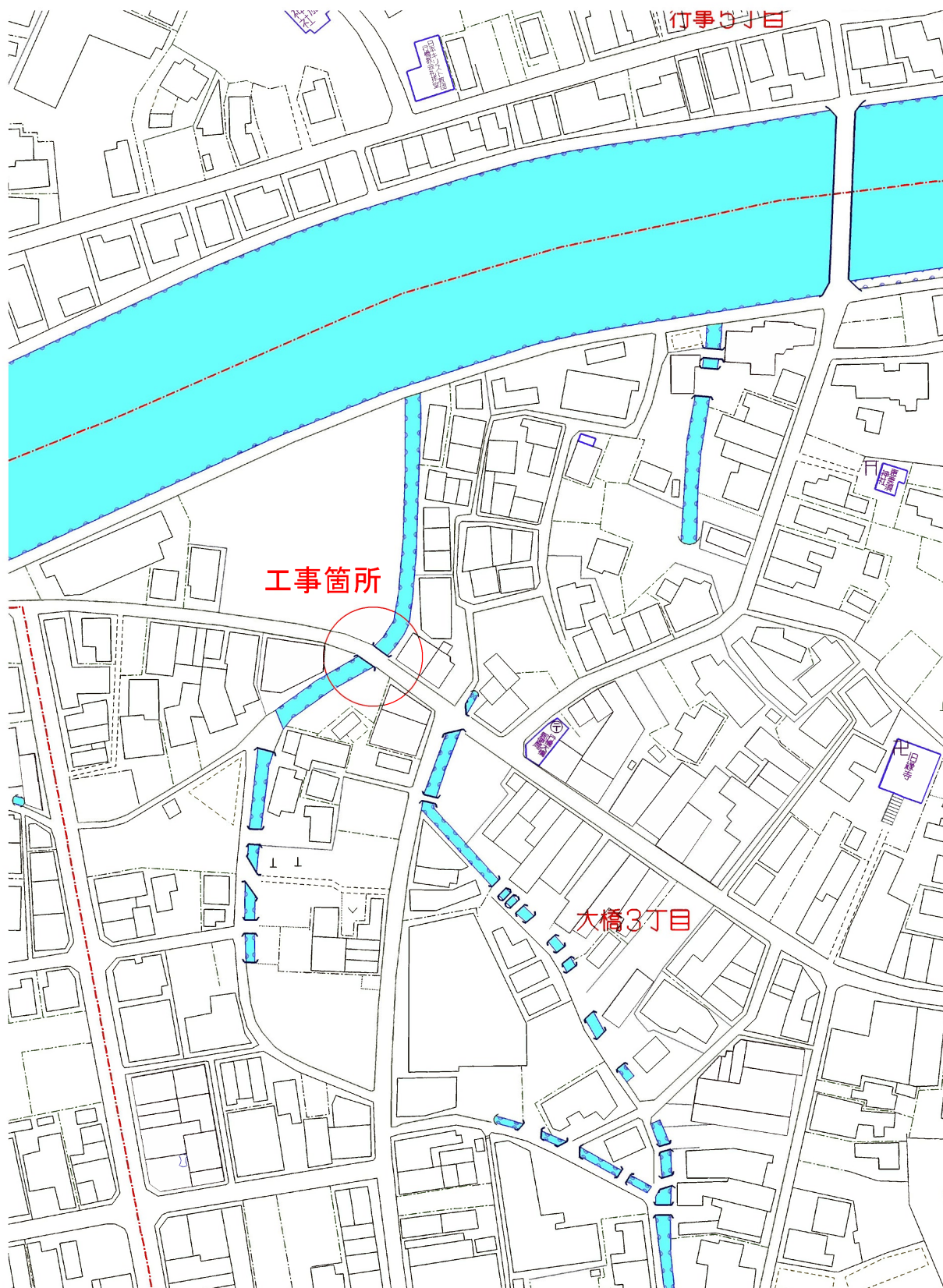


位置図



工事年度	平成 29 年 度竣工 災害定 第 号			工区
工事名	道路改良工事（1 工区）			
路名	線川	大橋・波風	（徳新） 地区	橋
工事箇所	行橋 ^市	大橋三丁目		地内
図面名	平面図			
縮尺	S=1:250		図面番号	全 7 葉之内 1 号
事務所名	行橋市都市整備部土木課			
認可	☐ 当初 ☐ 第 1 回変更	☐ 実 ☐ 第 1 回変更	☐ 当初 ☐ 第 1 回変更	☐ 査定



DL=1.00

地質構成表						
地質時代	地 層 名	地質名	地層記号	確認厚 (m)	N値範囲 (平均値)	記 事
新 生 代	現世	埋土	コンクリート ～砕石～ シルト質砂	B	1.15	－ (－)
	完新世	沖積砂質土	シルト質砂	As	3.95	1～2 (1.7)
		洪積砂質土	礫混じり砂	Ds	2.00	10～21 (15.5)
		洪積硬質土	粘土混じり砂礫	Dg	3.90	41～50 (46.4)
中生代	後 期 白 堊 紀	平岡花崗閃緑岩 系岩	風化花崗閃緑岩	GrW	今調査 では未確 認	50以上

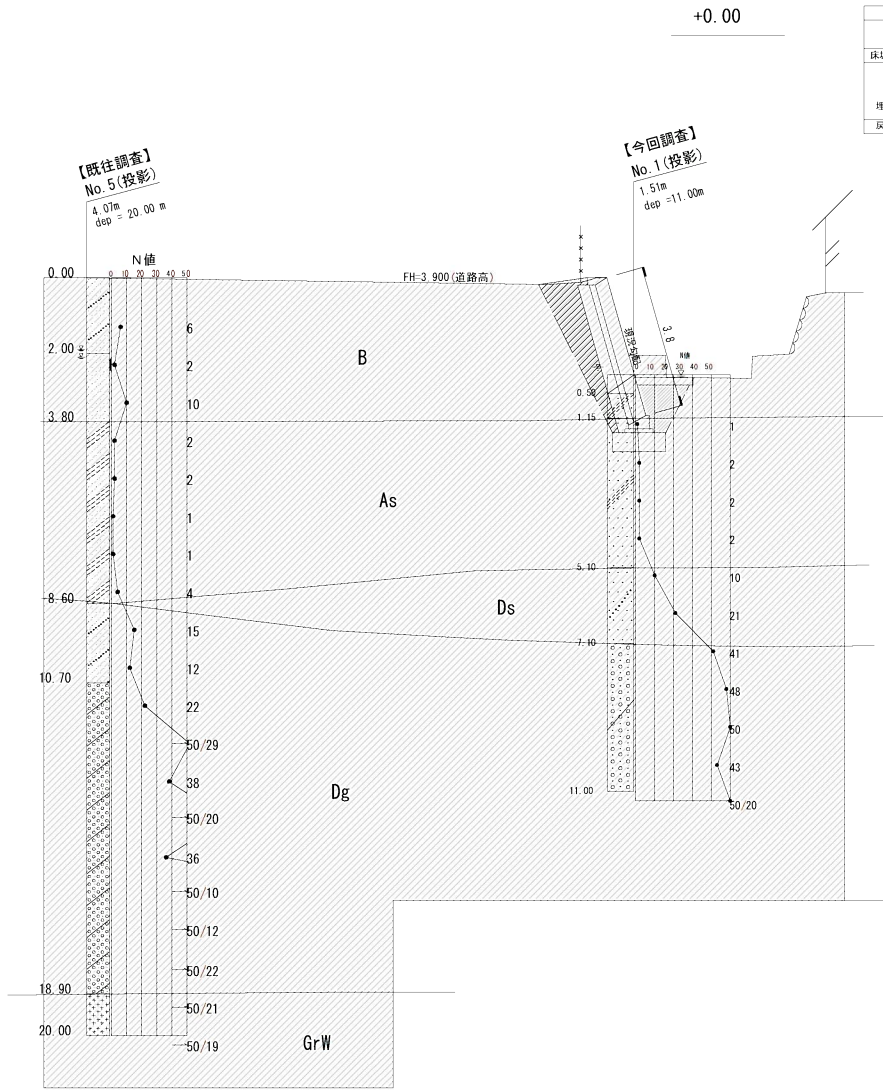
工事年度	平成 29 年	度起工 災害定	第	号	工区
工事名	道路改良工事（1工区）				
路線名	大橋・波風	（線筋）	地区	橋	
工事箇所	行橋市	大橋三丁目	地内		
図面名	横断図（1/2）				
縮尺	S=1:100	図面番号	全	7 葉之内	3 号
事務所名	行橋市都市整備部土木課				
認可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	実施	☐ 当初 ☐ 第 回変更	☐ 査定 ☐	

横断図（1/2）

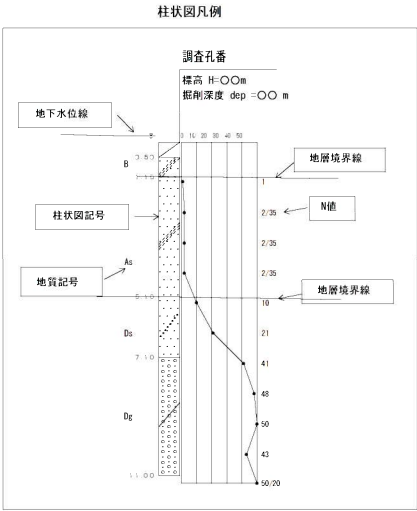
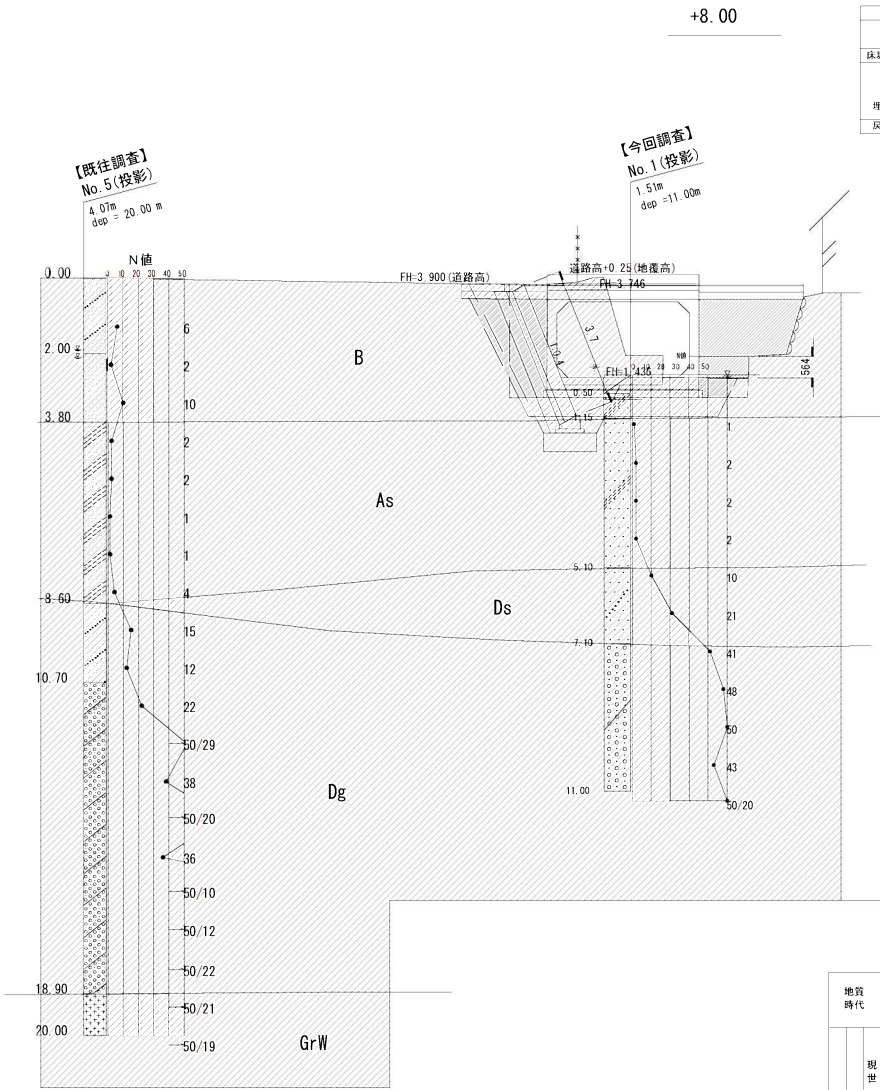
S=1:100

測点	+8.00 (上流側)		
	項目	単位	数量
床層	土 砂	m ²	15.0
	A	m ²	—
	B	m ²	—
埋	C	m ²	8.8
	D	m ²	—
関係カサット	t/1000	m	—
基準整正	t/1000	m	5.0

測点	+8.00 (下流側)		
	項目	単位	数量
床層	土 砂	m ²	12.2
	A	m ²	—
	B	m ²	—
埋	C	m ²	1.1
	D	m ²	1.6
関係カサット	t/1000	m	2.68



測点	+0.00		
	項目	単位	数量
床層	土 砂	m ²	7.7
	A	m ²	—
	B	m ²	—
埋	C	m ²	1.1
	D	m ²	2.5
関係カサット	t/1000	m	1.47



地質構成表					
地質時代	地層名	地質名	地層記号	確認層厚 (m)	N値範囲 (平均値)
新第四紀	現世	埋土	B	1.15	—
	完新世	沖積砂質土	As	3.95	1~2 (1.7)
	更新世	洪積砂質土	Ds	2.00	10~21 (15.5)
	更新世	洪積礫質土	Dg	3.90	41~50 (46.4)
中生代	後白亜紀	平尾花崗閃緑岩	GrW	今回調査では未確認	50以上

0.0~0.3m間は底盤コンクリート
0.3~0.5m間は敷設石φ30~100mm程度
0.5~1.15m間は、シルト質砂。φ10mm以下の礫を含み不均質な層。
完新世の未固結堆積物。土質はシルト質砂を呈する。砂は細~中粒を主体とする。全体に腐植物を少量含む。所々シルト分をボケツク状に含む。深度4.10~4.50m間はややシルト分多く含む。
更新世の未固結堆積物。粗粒砂主体の砂質土。φ40mm以下の亜角礫~重円礫を含む。
更新世の未固結堆積物。φ10~30mm程度の亜角~円礫を主体とする礫質土。砂は中~粗粒砂を主体とする。全体に細粒分を含み不均質。
全体に風化により地弱化し、マツ状コアを呈す。岩組織は概ね明瞭に残存。一部岩片状を呈すが、指圧で砕け砂状となる。

工事年度	平成 29 年度起工 災害定	第 号 工区
工事名	道路改良工事（1工区）	
路線名	大橋・波風	（線筋）地区 橋
工事箇所	行橋市	大橋三丁目 地内
図面名	横断図（2/2）	
縮尺	S=1:100	図面番号 全 7 葉之内 4 号
事務所名	行橋市都市整備部土木課	
認可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	☐ 当初 ☐ 第 回変更 ☐ 査定

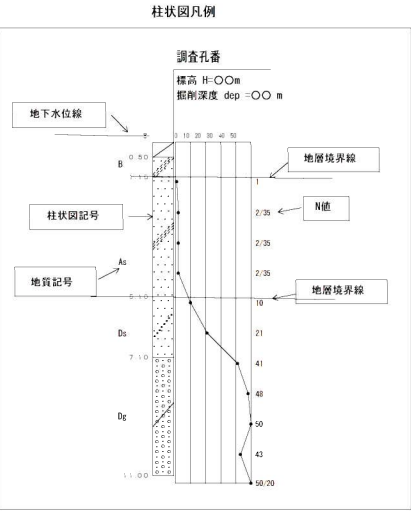
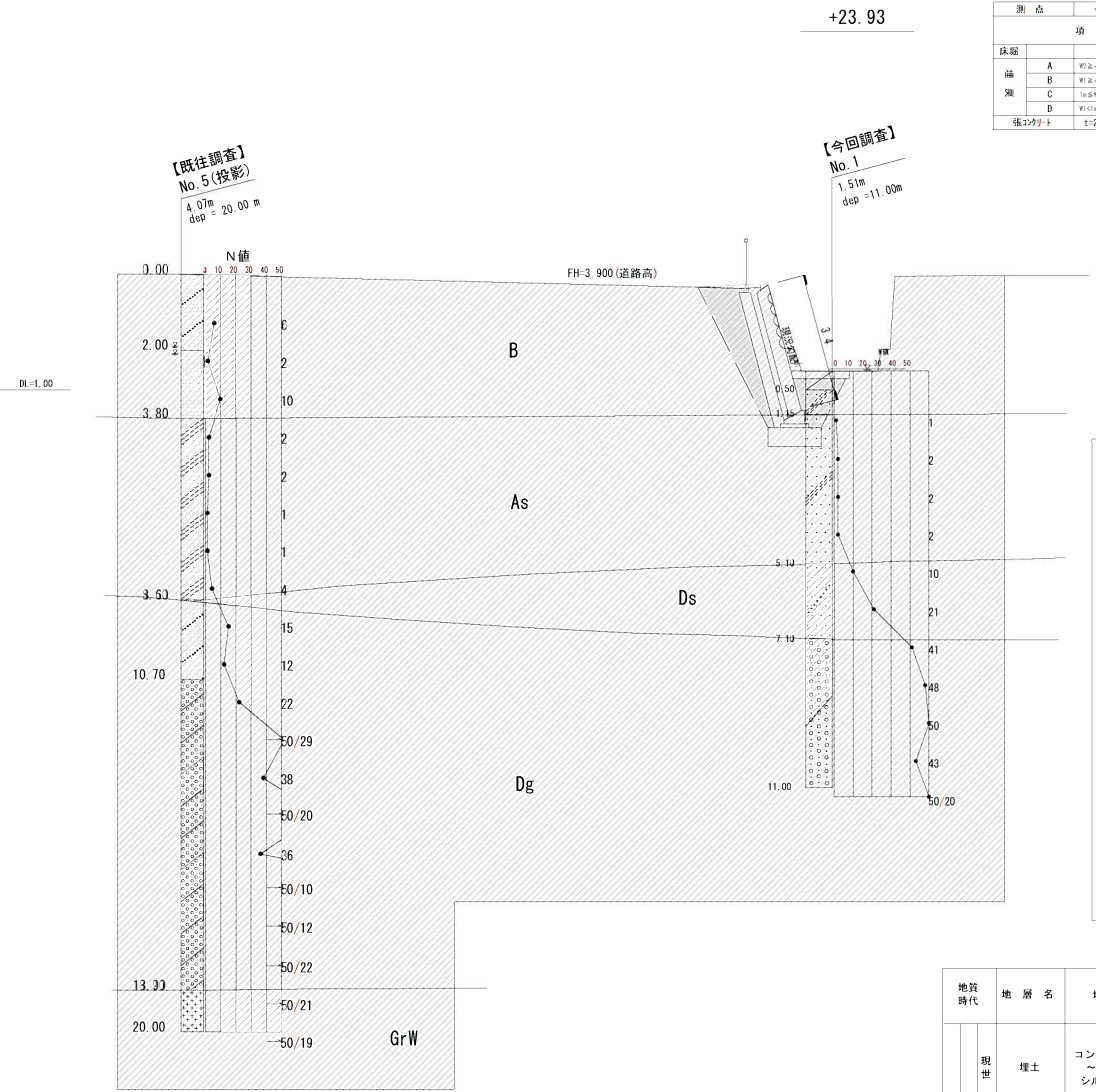
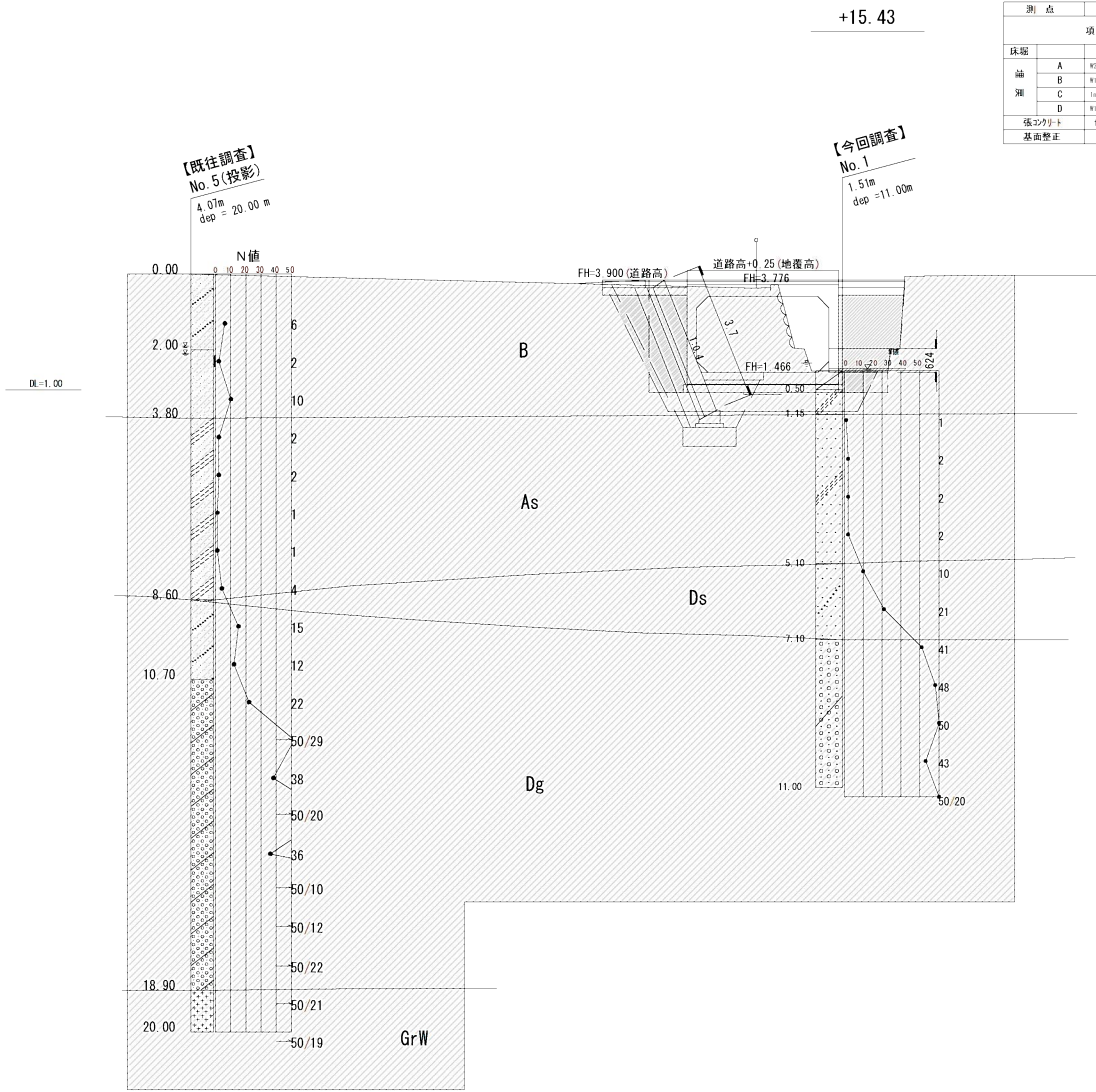
横断図（2/2）

S=1:100

測点	+15.43 (上流側)		
	項目	単位	数量
床層	土 砂	m ²	12.8
	A 砂礫層	m ²	—
	B 砂礫層	m ²	—
	C 砂礫層	m ²	1.1
	D 砂礫層	m ²	1.6
橋脚部	橋脚部	m	2.92

測点	+15.43 (下流側)		
	項目	単位	数量
床層	土 砂	m ²	15.7
	A 砂礫層	m ²	—
	B 砂礫層	m ²	—
	C 砂礫層	m ²	7.3
	D 砂礫層	m ²	—
橋脚部	橋脚部	m	—
基面修正	基面修正	m	5.0

測点	+23.93		
	項目	単位	数量
床層	土 砂	m ²	6.9
	A 砂礫層	m ²	—
	B 砂礫層	m ²	—
	C 砂礫層	m ²	1.1
	D 砂礫層	m ²	2.3
橋脚部	橋脚部	m	1.49



地質構成表					
地質時代	地層名	地質名	地層記号	確認層厚 (m)	N値範囲 (平均値)
新第四紀	現世	埋土	B	1.15	—
	完新世	沖積砂質土	As	3.95	1~2 (1.7)
	更新世	洪積砂質土	Ds	2.00	10~21 (15.5)
	更新世	洪積礫質土	Dg	3.90	41~50 (46.4)
中生代	後白垩紀	平尾花崗閃緑岩	GrW	今回調査では未確認	50以上

0.0~0.3m間は底盤コンクリート
0.3~0.5m間は敷石φ30~100mm程度
0.5~1.15m間は、シルト質砂。
φ10mm以下の礫を含み不均質な層。

完新世の未固結堆積物。
土質はシルト質砂を呈する。
砂は細~中粒を主体とする。
全体に腐植物を少量含む。
所々シルト分をポケット状に含む。
深度4.10~4.50m間はややシルト分多く含む。

更新世の未固結堆積物。
粗粒砂主体の砂質土。
φ40mm以下の垂直礫~重円礫を含む。

更新世の未固結堆積物。
φ10~30mm程度の垂直~円礫を主体とする礫質土。
砂は中~粗粒砂を主体とする。全体に細粒分を含み不均質。

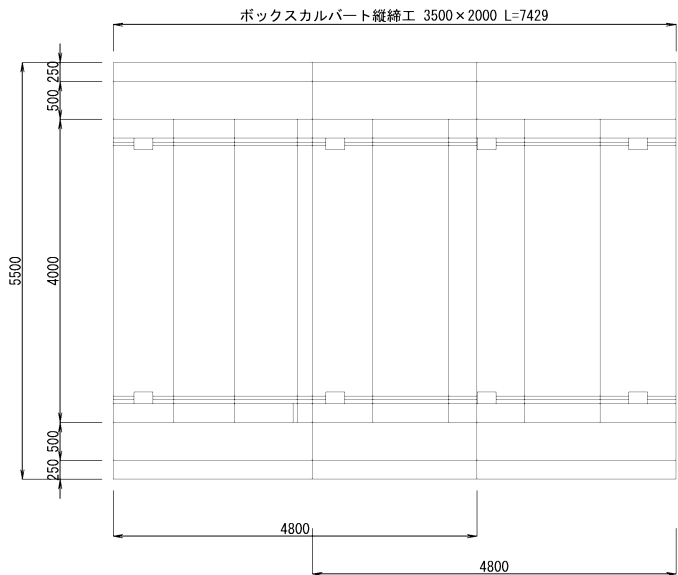
全体に風化により地弱化し、マツ状コアを呈す。
岩脈は粗粒明瞭に残存。
一部岩片状を呈すが、指圧で砕け砂状となる。

工事年度	平成 29 年度 底起工 災害定 第 号 工区		
工事名	道路改良工事（1 工区）		
路線名	大橋・波風	（線 筋）地区	橋
工事箇所	行橋（市 郡）	大橋三丁目	地内
図面名	ボックスカルバート構造図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	全 7 葉之内 5 号
事務所名	行橋市都市整備部土木課		
認 可	☐ 当 初 ☐ 第 回変更	☐ 実 施 ☐ 第 回変更	☐ 初 査 定 ☐ 回 更 改

ボックスカルバート工構造図

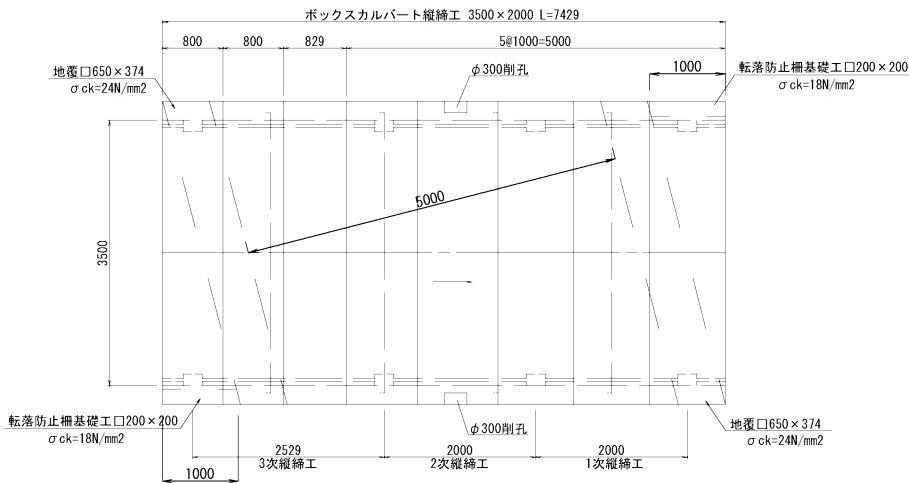
基礎工詳細図 S=1:50

平面割付図



基礎工数量表		一式当り		
種 別	算 式	単位	数 量	摘 要
軟弱地盤用ジオテキスタイル	$(5.50+5.00+0.559 \times 2+1.00) \times (4.80+4.80)$	m ²	121.1	
中詰材	$(5.00+5.50) \times 1/2 \times 0.50 \times 7.429 \times 1.1$ (割増)	m ³	21.45	C-40

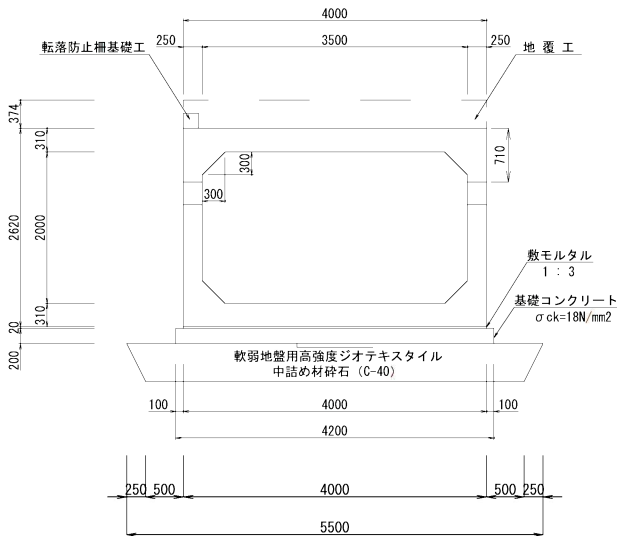
平面割付図 S=1:50



数量表		ヶ所当り	
種 別	摘 要	計 算 式	数量 単位
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$4.20 \times 7.43 \times 0.20$	6.24 m ³
基礎型枠		$7.43 \times 0.20 \times 2$	2.97 m ²
敷モルタル	1 : 3	$4.00 \times 7.43 \times 0.02$	0.59 m ³
ボックスカルバート		3500×2000	7.43 m
P C鋼より線 φ 15.2	1次縦断工	4×3.25	13.00 m
	2次縦断工	4×3.25	13.00 m
	3次縦断工	4×3.75	15.00 m
定着グリップ	φ 15.2用		24.00 個
アンカープレート	φ 15.2用		24.00 枚

※緊張力 P=120kN/本

標準断面図 S=1:50



設計地耐力 $Q_v=65.70\text{kN/m}^2$ 以上 (8割水深、基礎下)

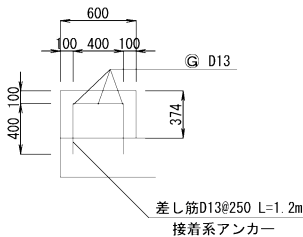
注1) 施工時には、平板載荷試験によりカルバート底面位置において上記の値以上の許容支持力度（地耐力）の確認を行うこと。

設計条件

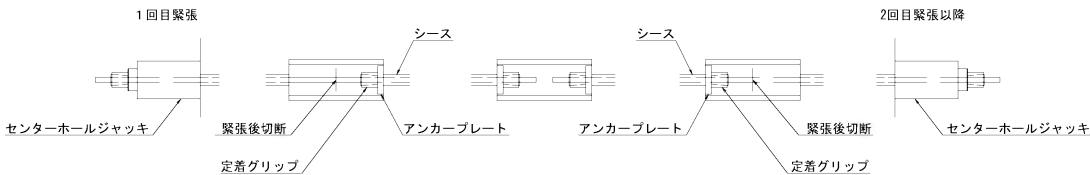
設計荷重	T-25 (T荷重)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.00\text{kN/m}^3$
静止土圧係数	$K_0=0.5$
鉛直土圧係数	$\alpha=1.0$
土被り	0.12~0.16m

地覆工平面図 S=1:30

地覆工断面図 S=1:30



緊張状態図



※緊張作業終了後、無収縮モルタル充填

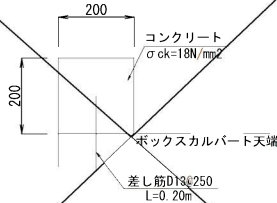
部品詳細図

アンカープレート
φ 15.2用

定着グリップ
φ 15.2用



転落防止柵基礎工断面図 S=1:10



転落防止柵基礎工数量表		一式当り		
種 別	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	$0.200 \times 0.200 \times 1.00 \times 2$	m ³	0.080	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
型枠	$0.20 \times 2 \times 1.00 \times 2$	m ²	0.80	
鉄筋D13	$0.20 \times 4 \times 0.995 \times 2$	kg	1.6	SD345

鉄筋加工図 S=1:30



鉄 筋 表		一式当たり				
符号	径	単位重量	長 さ	一本当り重量	本数	重 量
G ₁	D13	0.995	1200	1.194	17	20.3
G ₂	"	"	3923	3.903	3	11.7
D13=32.0kg						

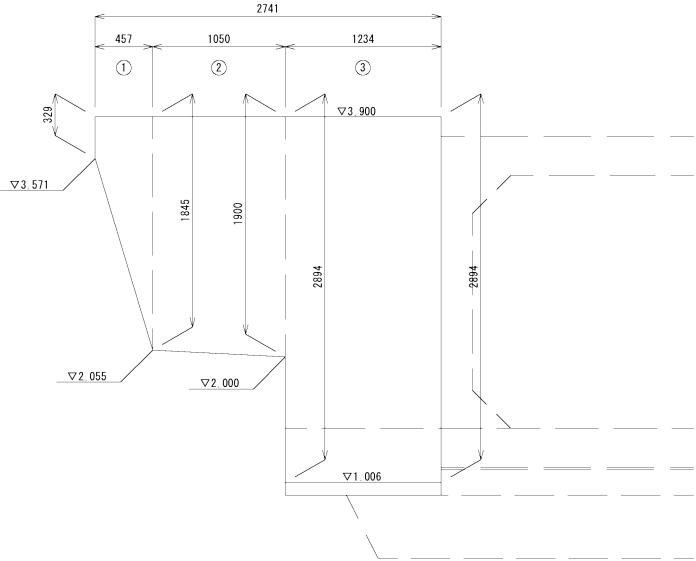
地覆工数量表		一式当り		
種 別	算 式	単位	数 量	摘 要
コンクリート	$0.600 \times 4.130 \times 0.374 \times 2$	m ³	1.854	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
型枠	$(4.130+0.619) \times 0.374 \times 2 \times 2$	m ²	7.10	
鉄筋D13	32.0×2	kg	64.0	SD345

工事年度	平成 29 年	度起工 災査定	第	号	工区
工事名	道路改良工事（1工区）				
路線名	大橋・波風	（線筋）	地区		橋
工事箇所	行橋市		大橋三丁目		地内
図面名	重力式擁壁工構造図				
縮尺	図示	図面番号	全	7 葉之内	6 号
事務所名	行橋市都市整備部土木課				
認可	☐ 当初 ☐ 第 回変更	実施	☐ 当初 ☐ 第 回変更	☐ 査定 ☐	

重力式擁壁工構造図

1号重力式擁壁工展開図

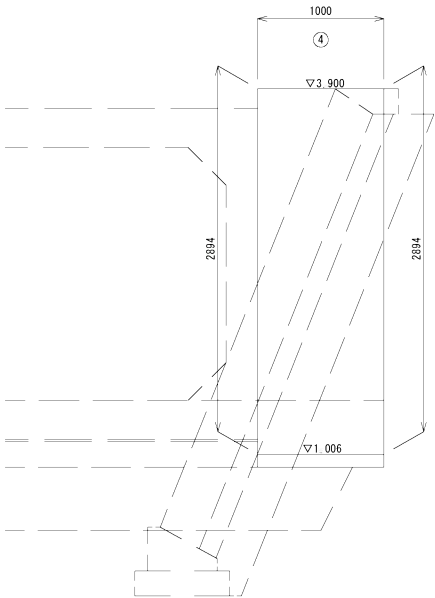
S=1：30



DL=0.00

2号重力式擁壁工展開図

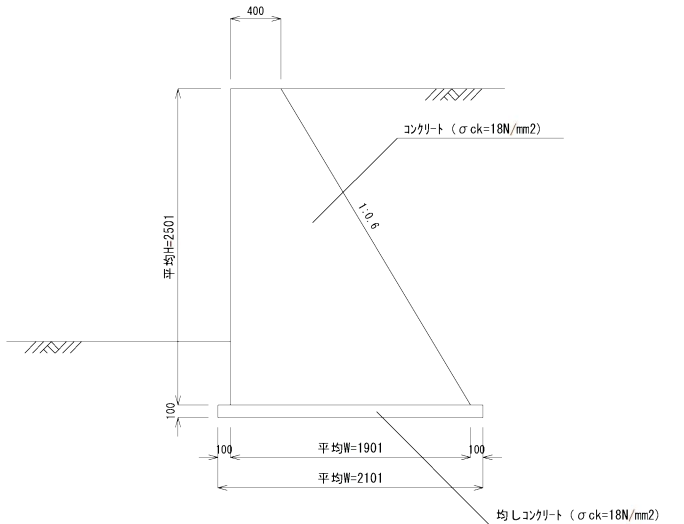
S=1：30



DL=0.00

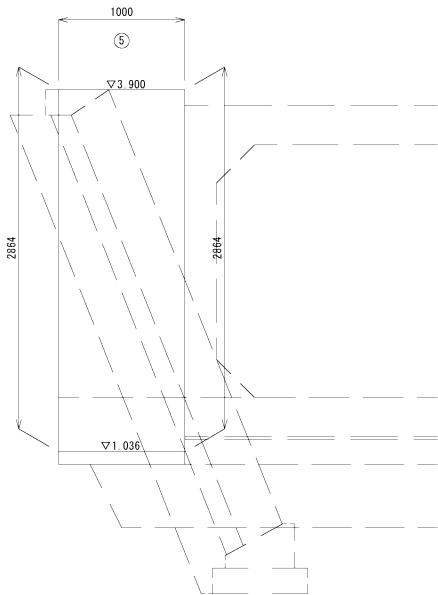
重力式擁壁工断面図

S=1：30



3号重力式擁壁工展開図

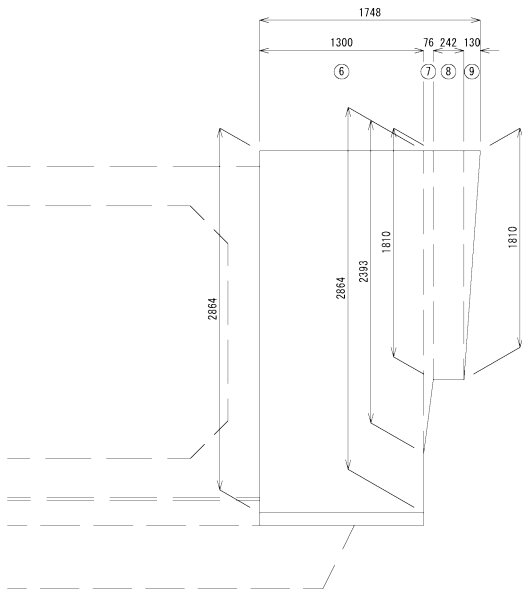
S=1：30



DL=0.00

4号重力式擁壁工展開図

S=1：30



DL=0.00

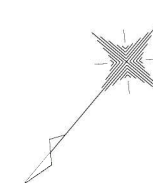
重力式擁壁工平均高計算表		
番号	算 式	面積
①	(0.329 + 1.845) × 1/2 × 0.457	0.497
②	(1.845 + 1.900) × 1/2 × 1.050	1.966
③	(2.894 + 2.894) × 1/2 × 1.234	3.571
④	(2.894 + 2.894) × 1/2 × 1.000	2.894
⑤	(2.864 + 2.864) × 1/2 × 1.000	2.864
⑥	(2.864 + 2.864) × 1/2 × 1.300	3.723
⑦	(2.393 + 1.810) × 1/2 × 0.076	0.160
⑧	(1.810 + 1.810) × 1/2 × 0.242	0.438
⑨	(1.810 + 0) × 1/2 × 0.130	0.118
合 計		6.489
平均法長		16.231 ÷ 6.489 = 2.501

重力式擁壁工数量表		10m当り		
種 別	算 式	単位	数 量	摘 要
均しコンクリート	2.101 × 0.100 × 10.00	m³	2.101	σ ck=18N/mm²
均し型枠	0.10 × 2 × 10.00	m²	2.00	
型枠	(2.501+2.501 × 1.166) × 10.00	m²	54.17	
コンクリート	(0.40+1.901) × 1/2 × 2.501 × 10.00	m³	28.774	σ ck=18N/mm²

工事年度	平成 29 年	度起工 災査定	第	号	工区
工事名	道路改良工事（1 工区）				
路名	線川	大橋・波風	（橋 脚）	地区	橋
工事箇所	行橋 _市	大橋三丁目	地内		
図面名	撤去工平面図				
縮尺	S=1:250	図面番号	全	7 葉之内	7 号
事務所名	行橋市都市整備部土木課				
認可	☐ 当 第	初 回変更	実 施	☐ 第 初 回変更	☐ 査 定

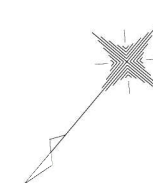
撤去工平面図

S=1 : 250



工 事 年 度	平成 29 年	度 起 工 災 害 定 第	号	工 区
工 事 名	道路改良工事（1 工区）			
路 河 線 川 名	大橋・波風	河 筋 地区	橋	
工 事 箇 所	行 橋 ^市	大 橋 三 丁 目	地 内	
図 面 名	参 考 図			
縮 尺	S=1:250	図面番号	全	葉之内 号
事 務 所 名	行橋市都市整備部土木課			
認 可	☐ 当 初 ☐ 第 回 変 更	実 施	☐ 都 市 ☐ 第 回 変 更	☐ 査 定 ☐

仮設計画平面図(参考図) S=1:250



工 事 年 度	平成 29 年 度起工 災査定 第 号 工 区			
工 事 名	道路改良工事（1 工区）			
路 線 名	大橋・波風	線 筋	地区	橋
工事箇所	行 橋 市 郡	大 橋 三 丁 目	地 内	
図 面 名	参 考 図			
縮 尺	図 示	図面番号	全 葉之内	号
事 務 所 名	行 橋 市 都 市 整 備 部 土 木 課			
認 可	☐ 当 初 ☐ 第 回変更	実 施	☐ 当 初 ☐ 第 回変更	☐ 査 定 ☐

仮 設 計 画 横 断 図（参考図） S=1：100

DL=1.00

+0.00

FH-3.900(道路高)

DL=1.00

+8.00

+15.43

DL=1.00

+23.93

FH-3.900(道路高)

DL=1.00